



秋の読書週間キャンペーン期間(10/23~11/9)に

貸出冊数が多かったクラス **BEST3**



1位 3 - F
2位 3 - G
3位 3 - B

上位を3年生が独占でした!

さすが、進路に向けた対策本を借りましたみなさんや、
キャンペーンに積極的に協力してもらった結果です。



『パラレルワールド・ラブストーリー』 東野圭吾／講談社

この本は、異なる現実世界の中で繰り広げられる恋愛と葛藤を描いた作品です。この小説は、恋愛とは何か、人生の選択とは何かについて考えさせられる作品となっています。

『青い春を数えて』 武田綾乃／講談社

「青春」、その正体はきれいな紙で隠された悩みと葛藤の塊だった。部活に進路、友情や自分自身について、様々な悩みを持つ女子高生たちの出す決断とは。青春の表も裏も抱えて大人になっていく少女たちの連作短編集。私たち高校生に必ず刺さる一冊。

『さよならドビュッシー』 中山七里／宝島社

ピアニストを目指す少女が祖父といとこと共に火事に巻き込まれ、ただ一人生き残ったものの全身大やけどを負ってしまった。またピアニストを目指して猛レッスンに励む中、不吉な出来事が次々と起こり、やがて殺人事件まで発生する話。



秋の読書週間キャンペーンに

ご参加いただきありがとうございました♪



本を借りたみなさんが、クラスでキャンペーン内容を広めて新たな参加者を呼び込んでもらったり、一緒に来た友だちが参加してくれていました。

また先生方のご協力で、あまり利用の機会が少ないクラスを授業で利用してもらうこともできました。

このまま、読書習慣を継続して欲しいです!

図書委員がおすすめするじっくり読んでもらいたい少し長めの小説をご紹介します。興味のある本は、ぜひ読んでみてください。

『新世界より』 貴志祐介／講談社

SF要素も含んだ複雑な世界観と、深い哲学的なテーマが魅力的な作品です。「新世界より」には、人間と社会、生と死、自由と制限など多くのテーマが込められており、このテーマを掘り下げることによりいろいろな事を考えさせられる本です。

『本を守ろうとする猫の話』 夏川草介／小学館

読書嫌いな人にもおすすめです。ファンタジーでとても読みやすく、楽しめる本です。主人公の高校生夏木林太郎は、「夏木書店」を営む祖父と二人暮らし。その祖父が突然亡くなり店をたたもうとしていた時、人の言葉を話すトラネコと出会います。本を愛せない敵から本を助け出すため、林太郎に協力を求める話です。

新着図書案内

難

* 読み応え重視 *

注意！！

『キングダム』全体的に返却が遅れがちです！

* 読み応え満点コミック *

1週間で読み切れる適正な冊数を借りにください。

- * 『キングダム 46～69』 原泰久/集英社
- * 『薬屋のひとりごと 17』 日向夏/小学館
- * 『ジパング(1～43)』 かわぐちかいじ/講談社

全シリーズ入っています！

- * 『メインテーマは殺人』 アンソニー・ホロヴィッツ/東京創元社
- * 『可哀想な蠅』 武田綾乃/新潮社
- * 『クレイジーDの悪霊的失恋ジョジョの奇妙な冒険より』 荒木飛呂彦/集英社
- * 『私小説』 金原ひとみ編/河出書房新社

絵

字

* イラスト多め *

* ライトな読み物 *

- * 『人生を彩る教養が身につく旅する世界史』 佐藤幸夫/KADOKAWA
- * 『マンガで笑って、言葉の達人!超こども言いかえ図鑑』
川上徹也, 小川晶子/Gakken
- * 『タイで大の字 (さおり&トニーの冒険紀行)』 小栗左多里/河出書房新社

- * 『俺しかいない』 堂安律/集英社
- * 『すべての人にいい人である必要なんでない』
キムユウン/かんき出版
- * 『源氏物語入門』 高木和子/岩波書店
- * 『ショットガン・ナウル』 三月みどり/KADOKAWA
- * 『小説消えた初恋 2』 アルコ/集英社

* 『パン語辞典 パンにまつわることばをイラストと豆知識でおいしく読み解く』

ぱんとたまねぎ/誠文堂新光社

* 『知りたいことがすべてわかる宝石・鉱物図鑑』 新星出版社編集部

易

* 新着本一覧を
Web で見る *

文部科学省のホームページに、「子供の
読書キャンペーン～きみに贈りたい1冊
～」と題して、芸能やスポーツ、科学など

さまざまな分野で活躍されている方たちのおすすめ本とメッセージが紹介されて
います。定期的に更新もされます。本選びのお供にぜひご覧ください！

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/campaign_2023.html

子供の読書
キャンペーン
～きみに贈りたい1冊～
文部科学省



私が先週の朝読タイムに読んだ本を紹介します。

『ばにらさま』 山本文緒/著 (小説)

透き通る程に白くてなめらかな肌をした、僕には釣り合わない
彼女「ばにらさま」。しかし彼女の SNS は、ギリギリの人生を送る
ヒリヒリした内容ばかり・・・僕はすべてを知っている。「ばにらさ
ま」のようなヒロインたちが、ヒロインになりきれず日々を取り繕い
ながら生きる様子を描いた短編集です。 司書